

香川の 土地改良

発行所

香川県土地改良事業団体連合会

高松市番町2丁目4-27-301

TEL (087) 822-0303

FAX (087) 851-1787

E-mail: ktr-ho01@athena.ocn.ne.jp

第49回通常総会開催



本会の第49回通常総会が、去る3月23日、高松市西の丸町の「ホテルニューフロンティア」において開催された。

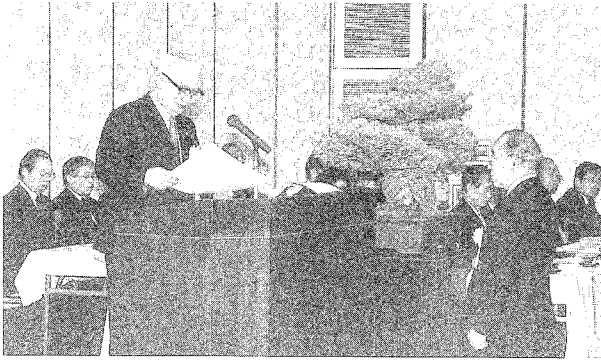
総会は、県下の市町、土地改良区より会員多数の出席を得、来賓として県から真鍋知事をはじめ県幹部職員、県議会から筒井議長、中国四国農政局からは中川整備部長、阿武設計課長、木下国営香川農地防災事業所長、小林四国土地改良調査管理事務所長、更に独立行政法人水資源機構からは杉村吉野川局長、県選出の真鍋参議院議員ほか国会議員代理の方々多数が列席された。

冒頭池田会長より、真鍋知事を始め来賓各位の出席により本総会に錦上添花を添えていただいたお礼が述べられた後、国の平成19年度農業農村整備予算の概要に触れ、6,746億5,600万円に平成19年度から創設される農地・水・環境保全向上対策の256億を加えると総額では対前年比3.8パーセント減の7,002億4,400万円となる厳しい予算が示されたが、この限られた予算を如何に有効に活用するかが我々に課せられた使命になっていると述べた。県土県民、特に水を守ってきたのは農家であり平成6年、平成17年の干ばつでは早明浦ダムの発電



用水からの配分を受ける状況に至ったがあくまでも自助努力が必要。21世紀は食料と水が厳しくなることが心配されているが、農地・水・環境保全向上対策は水はもとより農地など全ての資源を守ることから重要な施策となる。日本の食糧自給率は40パーセントに止まっているが、これはとりもなおさず水を輸入していることである。このような状況の中、香川県では国営総合農地防災事業によりため池を改修していることは大変ありがたいことである。先人の遺産である水路、ため池を守っていく工夫をすることが重要でありこのために国も県も知恵を出さなければならない。これを農地・水・環境保全向上対策の施策によって守って行きたい。そのためには地域関係者が一丸となって取り組むことが重要であると述べた後、本日提案した議題について慎重な審議、決定をいただくようお願いすると挨拶された。

これに続いて長年土地改良事業の推進に多大な貢献をされたの方々に対する感謝状の贈呈と土地改良功労表彰が行われ、お祝いとそのご苦勞が称えられた。



続いて、真鍋香川県知事、筒井香川県議会議長、中川中国四国農政局長代理よりそれぞれ祝辞が述べられた後、坂出市奥池土地改良区理事長村井友信氏を議長に選出して議事に入り、第1号議案から第8号議案について原案どおり承認された。

続いて、第9号議案では任期満了に伴う役員の改選が行われ、議長指名の承認を得た各地域から選ばれた6名の選考委員による選考が行われ、その結果として選考委員長の木田郡二股土地改良区理事長小林寛氏から理事13名、監事3名の推薦候補が報告、満場一致で承認され総会は盛会裡に終了した。

議決された議案

- 第1号議案 平成17年度事業報告及び一般会計収支決算並びに財産目録の承認について
- 第2号議案 平成18年度賦課金の調定について
- 第3号議案 平成18年度一般会計収支補正予算の理事会専決処分の承認について
- 第4号議案 平成19年度事業計画及び一般会計収支予算について
- 第5号議案 平成19年度賦課金の賦課基準並びに賦課徴収の時期及び方法について
- 第6号議案 一時借入金の借入及び借入限度額について



- 第7号議案 平成19年度役員報酬について
- 第8号議案 預託金融機関の決定について
- 第9号議案 役員の改選について

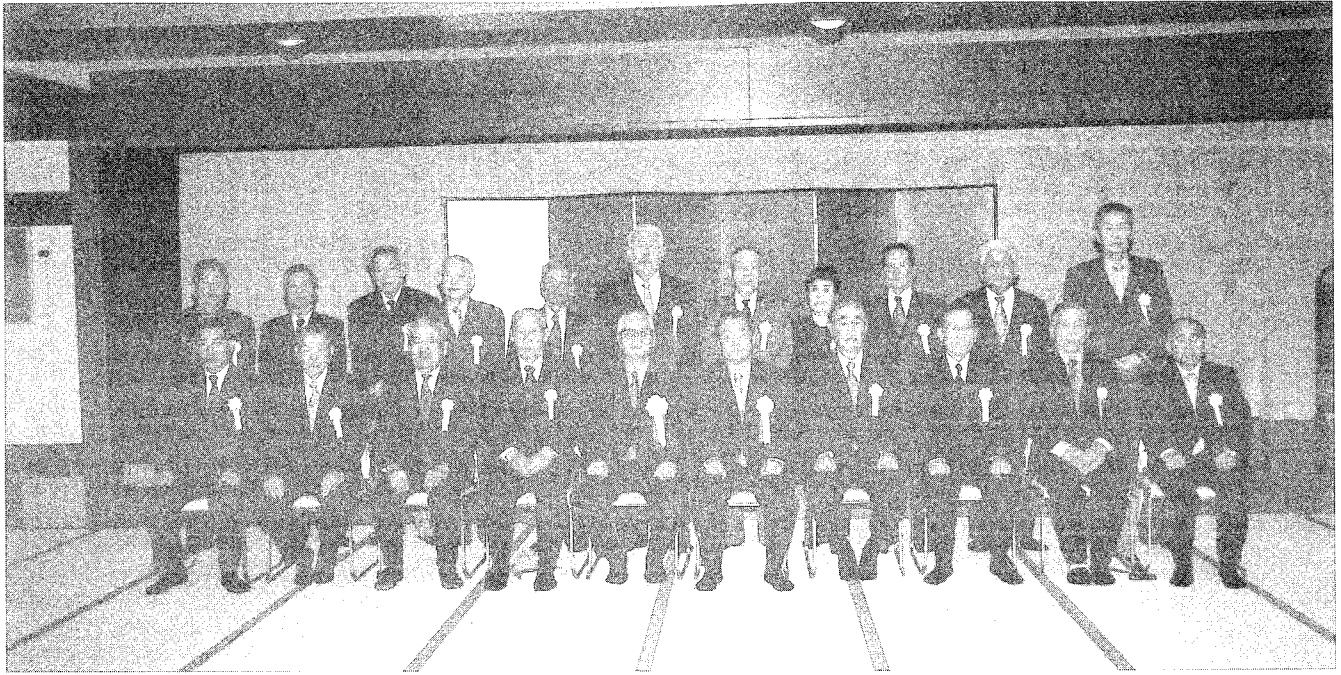
香川県職員表彰者名簿

所属職名	氏名
(前)香川県東讃土地改良事務所長	兼間 和行
(前)香川県中讃土地改良事務所長	谷西 毅
(前)香川県東讃土地改良事務所 防災・監督主幹	藤本 武
(前)香川県東讃土地改良事務所 副主幹	川西 恭裕
(前)香川県西讃土地改良事務所 副主幹	田中 三郎

第46回土地改良功劳表彰者名簿

(50音順)

所属名	職名	氏名
木田郡三木町山大寺池土地改良区	理事長	石井 定夫
香川県内場池土地改良区	総代	石丸 末夫
詫間町田井水利組合	組合長	磯崎 明廣
満濃池土地改良区	理事	香川 賢一
坂出市奥池土地改良区	副理事長	鎌田 道夫
高松市川島土地改良区	理事長	佐藤 喜八
満濃町土地改良区	理事	曾我部 強
琴平町土地改良区	総代	田岡 悟
綾歌郡仁池土地改良区	理事長	津村 憲一
小豆郡池田町土地改良区	第1理事	中澤 宗一
四箇池土地改良区	(前)理事長	樋口 博
大川郡野間池土地改良区	理事	日吉 正市
五郷土地改良区	書記	平野 公子
豊中町土地改良区	副理事長	三野 武正
高松市糠山池土地改良区	(前)理事長	宮本 良裕
宝幢寺池土地改良区	理事長	森里 淳美
大内土地改良区	理事長	山崎 重幸
三豊郡岩瀬池土地改良区	書記	山下 好治
萱原用水土地改良区	監事	横関 秀雄
観音寺市常磐土地改良区	理事長	好川嘉壽重



決 議

農業・農村は、安全・安心な食料の安定供給とともに、豊かな自然環境、生物多様性や美しい景観の保全などの多面的な機能の発揮を通じて、日本の国土を形成し、国民の日々の暮らしを支えてきた。

現在、異常気象や大規模な災害の発生など地球規模での環境の異変が心配される一方で、国内では、人口の自然減が現実のものとなり、高齢化や団塊の世代の定年退職とあわせて、社会構造が大きく変わろうとしている。

こうした時代の中で、我々水土里ネットは、農業・農村の「水」「土」「里」と、これらを育み結びつける「人の営み」を、次の世代により良い形で引き継ぎ、かけがえのない国土と豊かな国民生活を守っていかねばならない。

先人の叡智と連綿と積み重ねられてきた努力に
ならい、今の時代に生きる我々もこれを自らの責務とし、その使命を果たしていく覚悟が必要である。

このため、左記事項の実現を図り、一致団結して、農業農村整備を推進していくことを総会の名において決議する。

記

1. 安全・安心な食料の供給、食料自給率の向上

及び農業・農村が持つ多面的な機能の発揮に不可欠な農地や農業用水の整備・保全並びに農村の振興に必要な施策として、国と地方の適切な役割分担と支援のもとで、農業農村整備を着実に推進していくこと

1. 「農地・水・環境保全向上対策」については、水土里ネットと地域との連携をこれまで以上に強化しつつ主体的に取り組み、国民共有の財産である「農地」「水」の適切な保安全管理や農村環境の向上に一層に貢献していくこと
1. 既存の農地・水利ストックの更新・整備、担い手の育成・確保に資する基盤整備、災害に強い農業農村づくりに向けた防災対策等を計画的に進めるとともに、都市と農村の共生対流を通じて農村の活性化に取り組んでいくこと
1. 水土里ネットの名に相応しい役割と責務を十分認識し、時代の要請に応じた地域づくりの拠点としての機能を果たすべく、関係者が一丸となって「二十一世紀土地改良区創造運動」に邁進していくこと

右、決議する。

平成19年3月23日

香川県土地改良事業団体連合会第49回通常総会

選任された理事13名

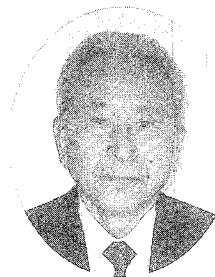
(H19. 4. 1)

	役 職	氏 名	備 考
さぬき市	市 長	大 山 茂 樹	
大川町土地改良区	理 事 長	十 川 昭 五	
小豆郡土庄町土地改良区	理 事 長	谷 久 嘉 典	
香川県内場池土地改良区	理 事 長	泉 川 静 雄	
木 田 郡 三 木 町	町 長	石 原 收	
高松市一宮土地改良区	理 事 長	三 笠 輝 彦	
北条池土地改良区	理 事 長	池 田 長 義	会 長
綾歌郡永富池土地改良区	理 事 長	松 岡 正 博	
仲南町土地改良区理事長	理 事 長	千 葉 宗 和	
琴平町土地改良区	理 事 長	山 下 正 臣	
三豊市仁尾町土地改良区	理 事 長	組 橋 啓 輔	副 会 長
観音寺市一ノ谷池土地改良区	理 事 長	白 川 精	
会 員 外		山 地 孝 士	常 務 理 事

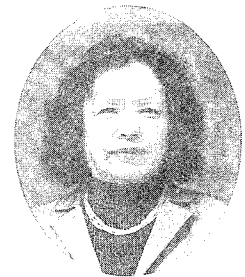
選任された監事3人

観音寺市高室土地改良区	理 事 長	森 川 光 典	代 表 監 事
高松市下笠居土地改良区	理 事 長	北 原 和 夫	
丸亀市土器町土地改良区	理 事 長	富 家 優	

全国土地改良事業団体連合会第49回通常総会並びに第48回全国土地改良功労者表彰式及び農業農村整備優良地区コンクール表彰式



観音寺市高室土地改良区
理事長 森川光典氏



小田奈良須両池土地改良区
会計主任 藤澤順子さん

全国土地改良事業団体連合会の第49回通常総会
が去る3月28日、東京都千代田区平河町の「ルポ
ール麹町」において開催された。

冒頭、挨拶に立った野中会長はこの25日に発生

した能登半島地震により被害を受けられた方々の
早期復旧が図られるようお見舞いを述べた後、平
成19年度から導入される農地・水・環境保全向上
対策にふれ、水土里ネットがこれまで管理を担っ
てきた地域資源を次世代に引き継ぐことが我々の



今回受賞の金章に併せて銀章、銅章の披露
三好会計主任 藤澤理事長 久保副理事長 久保元理事長

使命であり21世紀創造運動のノウハウを踏まえて新しい施策である農地・水・環境保全向上対策を積極的に対応し、地域から信頼される水土里ネットになることを期待すると挨拶された後、鳥取県土連の木村会長を議長に選出。平成17年度事業報告及び収支決算、平成18年度事業中間報告及び補正予算、平成19年度事業計画並びに収支予算、経費の賦課などについて審議され原案どおり承認。引き続き役員を選任が議題とされ理事22名、監事3名の選任案が提案され、会長には野中広務氏(京都府連会長)、副会長に吹田愧(山口県土連)、館澤宏邦(岩手県土連)の両氏が、更に専務理事に佐藤準氏、常務理事に新井安廣氏が、代表監事には服部忠行氏(三重県土連)を選任する旨の報告があり、全会一致の承認を受け総会は閉会した。

総会終了後、会場を砂防会館別館の「シェーンバツハ砂防」に移し、第48回土地改良功労者表彰式並びに農業農村整備優良地区コンクールの表彰

式が挙行され、冒頭、野中会長の挨拶に続いて国井農水副大臣から松岡大臣の祝辞代読がありこれに続いて各賞表彰式後、佐藤昭郎、段本幸男両参議院議員の祝辞が述べられた。各賞の内訳は農林水産大臣表彰として、山形県の寒河江川土地改良区ほか4土地改良区が、更に、農業農村整備優良地区として宮城県東松島市大塚地区アグリセンターの野蒜地区ほか3地区が国井農林水産副大臣からそれぞれ表彰状が授与され、また、農村振興局長表彰として山梨県甲州市らくらく農業推進委員会の塩山地区ほか3地区の代表者に対し山下農村振興局次長から表彰状と記念品が、更に全国水土里ネット会長表彰として北海道共和町水土里ネット共和の発足・発足二期地区ほか5地区の代表者に野中会長から表彰状と記念品がそれぞれ手渡された。

一方、土地改良区功労表彰については団体表彰として、金章35地区、銀章45地区、銅章50地区、更に個人表彰とし97名の方々が晴れの栄誉を受けた。

本県からは団体の部で、金章として高松市東植田土地改良区、銀章に高松市古高松土地改良区が、更に銅章として坂出市王越土地改良区、綾歌郡仁池土地改良区がそれぞれ表彰された。

また、個人の部では長年に亘り土地改良事業に功労のあった本会代表監事で観音寺市高室土地改良区理事長の森川光典氏と小田奈良須両池土地改良区会計主任の藤澤順子さんが表彰され、ここに受賞の栄に浴された団体並びに個人の方々に心よりお慶び申し上げます。



平成18年度 かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト 入賞者決定

香川県農村整備課及び香川県農協中央会並びに水土里ネット香川は、農村の持つ輝き、農村の伝統文化、農村の美しい風景、農村の豊かさなどに焦点を当て「農村の四季」をテーマに、去る2月9日香川県庁12階会議室において、「かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト」の審査会が行われた。

当日は、県下各地から同コンテストに応募された169点の写真が審査対象。審査員として、写真家の安川満俊氏、エッセイストの多田とし子氏、香川県農協中央会参事曾川則昭氏、水土里ネット香川常務理事山地孝士氏、香川県農政水産部次長吉田隆則氏、鈴木登美雄氏の6氏により厳正な審査が行われた結果、最優秀賞には、高松市仏生山

町の松下博行氏が撮影した「朝もやの中で」が、優秀賞には観音寺市新田町小野哲氏の「わらぐろ寸景」さぬき市津田町久保涼子氏の「残照」善通寺市弘田町細川和彦氏の「陽春の山地」三豊市財田町山崎雅信氏の「田植に挑戦」の4点が、また、香川県農協中央会長賞には三豊市高瀬町山西勤氏の「そばの里」が、水土里ネット香川会長賞には高松市松縄町石塚喜代司氏の「夕照」の2点が特別賞として選ばれた。この外、入選5点、佳作10点の作品も入賞を果たされた。

なお、この入賞作品の展示会が4月23日から27日まで香川県庁東館1階ギャラリーで展示され、香川の四季の農村風景が紹介されることになっている。

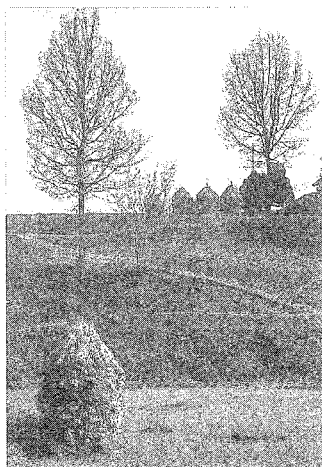
【最優秀賞】



「朝もやの中で」

松下博行

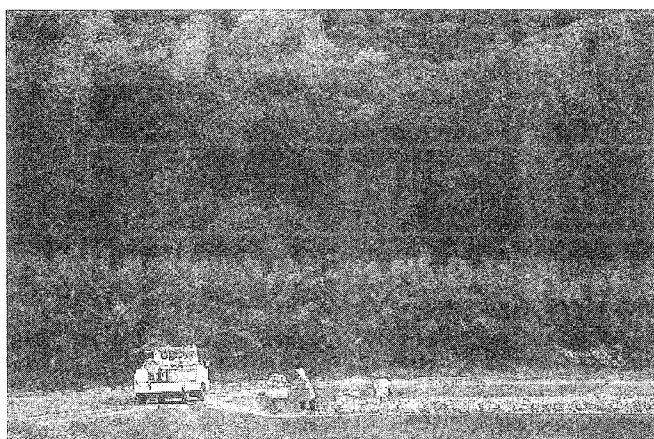
【優 秀 賞】



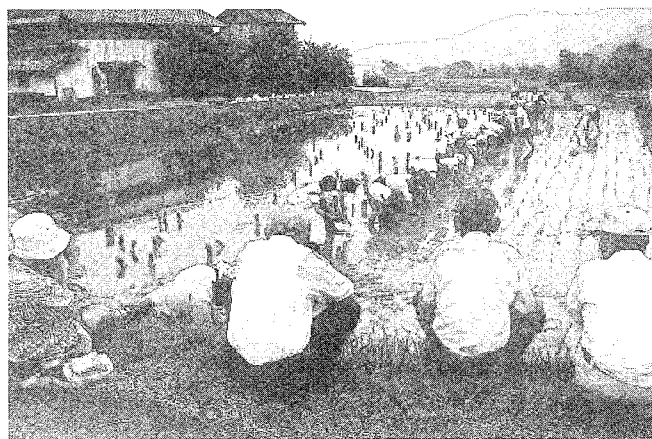
「わらぐろ寸景」 小野 哲



「残照」 久保涼子



「陽春の山地」 細川和彦



「田植に挑戦」 山崎雅信

【香川県農業協同組合中央会長賞】

【香川県土地改良事業団体連合会長賞】



「そばの里」 山西 勤



「夕照」 石塚喜代司

さぬき “水の歴史考”

平井 忠志
（「四国作家」同人）

(44) 香川用水の終点宮奥池

はじめに

香川用水東部幹線水路は、財田町（三豊市）東西分水工に端を發し東へ七十四キロメートル、白鳥町（東かがわ市）の宮奥池に入る。ここが終点である。

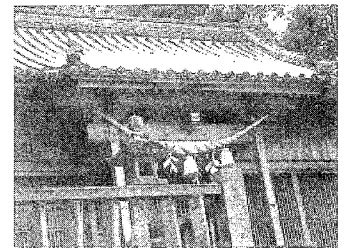
宮奥池の歴史は古い。鎌倉時代の後期に築造され、高松生駒藩時代に拡張され、さらに高松松平藩の初期に増築されて現在の姿になった。ここに宮奥池が刻んだ歴史の流れを追って見よう。

鎌倉時代の放生池

宮奥池のすぐ下に、別宮八幡神社がある。創祀した年代は不詳だが、言い伝えによると鎌倉時代の延慶三年（1310）に、供御田を開き、その水源を兼ねて放生池を築いたという。

これが宮奥池の前身である。記録によると別宮神社では、毎年八月十五日にこの池で放生会（ほうじょうえ……後生を祈って生魚を放流する祭り）を、盛大に催してきた。

この頃は鎌倉幕府の衰退期である。これから二十年ほど後に、朝廷の倒幕計画が発覚して、後醍醐天皇が隠岐島に流される事件が発生する。



別宮八幡宮（西山八幡）
東かがわ市

証文を入れて拡張

時代は下って江戸時代の初期、文禄四年（1595）というから、高松生駒藩初代藩主・親正の時代である。白鳥村（東かがわ市）の百姓たちが、別宮八幡に放生池の拡張を願い出た。湊川沿岸の水田地帯の用水に利用させて欲しいという申し出である。神社は条件付きで、これを許可している。

このとき、白鳥村の五人組役が別宮八幡に差し出した『大池開証文の事』という誓約書が残っている。要約すると、(1)供御田が洪水被害を受けないよう留意すること。(2)干ばつの時は、下のユル木の上端以下の貯水を供御田用水として残すこと。(3)毎年ユル抜きのはきは、神前に御神酒を供えて祈願すること。

「右三ヶ条固く相守るべき者なり」と誓約して、五人組役の名前を連ねている。（白鳥町誌）

このころ生駒藩は豊臣秀吉の命により、朝鮮出兵に莫大な藩費を費やしていたから、池の増築などに藩の援助は望めず、恐らく自普請で増築したに相違ない。

高松松平藩が増築

次に宮奥池が増築されるのは、高松松平藩・初代藩主頼重のときである。松平藩は生駒藩から政権を受け継いだ翌、寛永二十年（1643）大干ばつに見舞われた。これを機に領内では、ため池四百余か所の建設ラッシュが始まる。

『全讃史』（中山城山著）によると宮奥池は、「正保三年（1646）矢野部平六（矢延平六と同一人物）、公命を奉じて之を作れり」とある。平六は高松藩の代官手代で、新池（高松市香川町）や仁池（丸亀市飯山町）を築いた水利技術者である。

彼は現地を踏査し、別宮八幡宮の奥手に適地を選定し、放生池を抱き込んで宮奥池を築造したものと思われる。ちなみに別宮八幡の前宮司さんは、いまでも宮奥池のことを放生池と呼んでいる。

敗戦で供御田が消滅

こうして宮奥池は東讃随一の大池になった。江戸時代の水利施設台帳である「池泉合付録」(文政元年……1818)によると、宮奥池は「水掛高二百七十四石三斗七升四合」とある。田一反歩当たり一石と仮定すると、水掛かりは二十七町歩程度あったものと推定される。

その後、明治、大正、昭和と開田が進み、昭和初期には水田が約二倍に増加している。このため、さしもの宮奥池も常習的に貯水が不足する事態となった。これに加えて受益地にも大きな変化が起きた。

敗戦による「農地解放」で、別宮八幡の供御田が「不在地主」と認定され、そのすべてが個人の耕作者の手に移ったのである。

水争いが絶えず

こうなると、事は厄介である。問題は、宮奥池を造るにあたって白鳥村が、別宮八幡宮と取り交わした誓約書の効力である。白鳥村は「もう神様に遠慮せずに用水が使える」と喜んだ。一方、供御田をゆずり受けた受益者は、誓約書のとおり宮奥池の優先利用を主張する。

だがケンカになると、上流に位置する供御田に地の利がある。こうして両者の紛争は干ばつの度に繰り返されることになる。

ちなみに今では、宮奥池のユル抜きするとき神前に、お神酒を供える行事は自然に消滅してしまったという。



宮奥池 (東かがわ市白鳥町)

香川用水に追加編入

私の手元に、県が昭和四十二年に作成した香川用水計画概要図がある。これを見ると東部幹線水路は津田川が終点になっている。つまり東部三町(大内・白鳥・引田)は、香川用水計画の対象外となっていた。香川用水を自然流下で配水出来るのは、地勢から見ると津田川までが限界だったためである。

「是非、東部三町にも香川用水を」という強い要望があり、昭和四十三年に急遽追加編入で宮奥池までの送水が決まったのである。香川用水は同年十月の着工だから、まさにギリギリの駆け込み編入であった。

宗延峠へポンプアップ

東部幹線が自然流下で津田川までたどり着くと、標高は約三十四メートルになる。ここから東部三町に送水するには、標高百三十メートルの宗延峠を越えねばならない。

そこで津田川の東、田辺池揚水機場に四台のポンプを設置し、ピーク時には日量、三万四千トン余を揚水することにした。送水のパイプは直径六十センチのダクタイル鑄鉄管で、宗延峠まで約六キロメートル。農業用水としては、県下最大の規模を誇る揚水機である。

香川用水は終点の宮奥池まで送水されたあと、さらにここから県営引田支線で、東かがわ市引田町まで送水される。

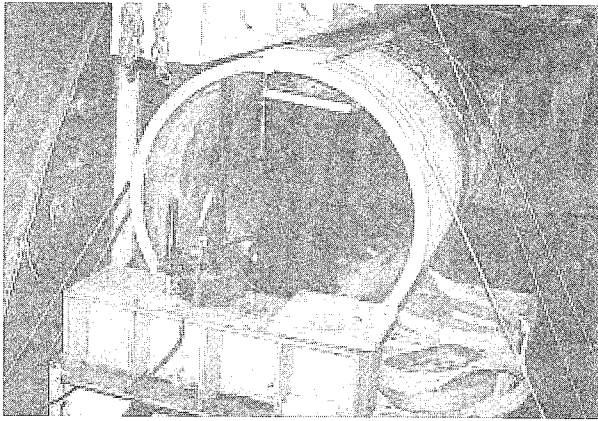
※

※

※

こうして宮奥池は七百余年にわたり、私たちの先祖が水を求めて営々と築いてきた歴史の証人として、白鳥町の奥深く静かなたたずまいを見せている。

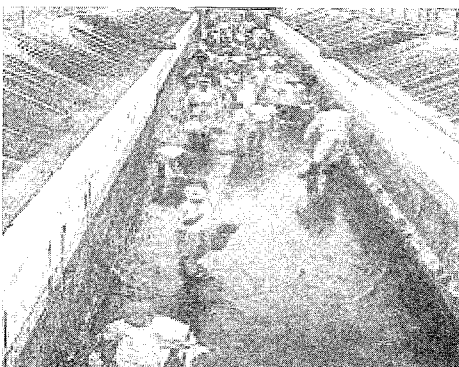
平成18年度 香川地域広域基盤確立推進協議会開催



ACP圧壊試験状況

去る3月26日、平成18年度香川地域広域基盤確立推進協議会が丸亀市内の飯山総合学習センターで開催された。協議会会長である香川用水土地改良区組橋理事長から「香川用水の施設は国営土地改良事業により整備され、香川地域は食糧供給の中核的な役割を果たしている。しかし、施設は造成後30年が経過しており、施設の整備が必要である。この施設の調査を中国四国農政局及び四国土地改良調査管理事務所が行っているの、調査成果には大きな期待をよせている。今後、施設の整備計画をつくりしっかりと管理していくのが土地改良区の大きな努めである。」と挨拶があった。

続いて来賓として中国四国農政局島崎事業計画課長から「香川地域は様々な農業農村整備事業により、かんがい施設整備がなされ、土地利用型農業や汎用耕地水田における野菜栽培、果樹栽培といった営農が推進されてい



小学生による清掃活動

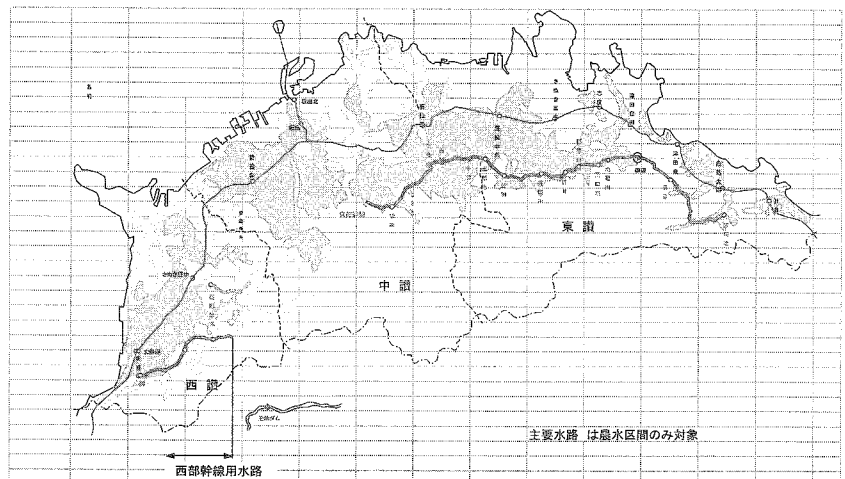


開会の挨拶を述べる組橋理事長

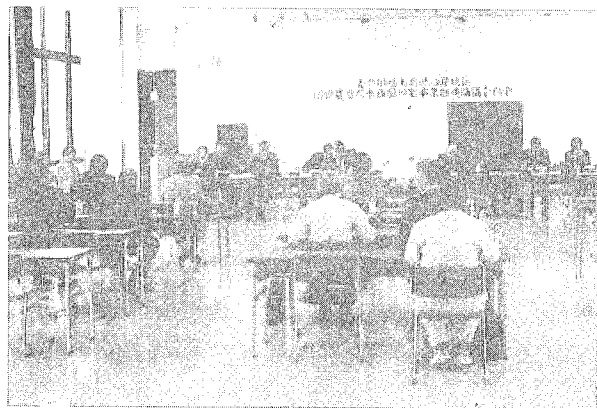
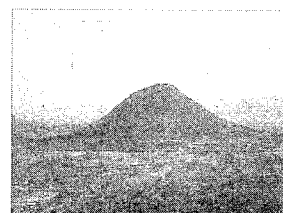
る。こうした中、平成15年度から実施してきた香川地域の広域基盤整備計画調査も本年度で最終年となり、この成果を受けて、広域基盤計画書を取りまとめ、平成19年度から地域整備方向検討調査を実施し、地域の整備構想を策定していく予定である。農政局としても国営調査を活用した地域の支援が重要と考えている。」と挨拶された。

次に、議事に入り、第1号議案、食料供給広域基盤確立対策広域基盤整備計画書(案)が事務局より提案、審議がなされ、組橋理事長から「特に緊急な整備が必要とされる施設については、整備年次計画に拘らず、事業等の対応を検討してもらいたい。」との意見があった。引続き、第2号議案が審議・承認され、閉会した。

国営土地改良施設「香川用水地区」配置図



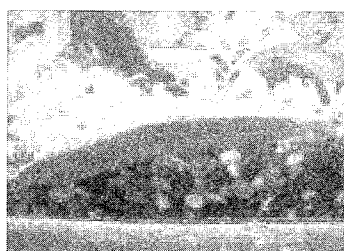
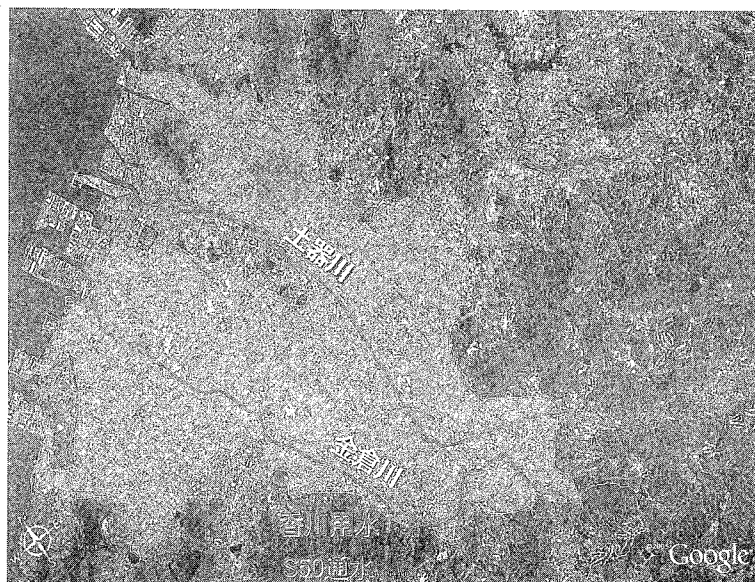
**平成18年度香川用水土器川沿岸地区
 国営農業用水再編対策事業推進協議会総会開催
 地域用水環境対策協議会総会開催**



去る3月20日、平成18年度香川用水土器川沿岸地区国営農業用水再編対策事業推進協議会総会が丸亀市内の飯山総合学習センターで開催された。新井会長から「本事業の改修により農業用水の安定供給及び維持管理軽減を期待している。」との挨拶があり、次に、来賓の祝辞として、香川県土地改良事業団体連合会の池田会長から「21世紀は水と食糧の時代となる。先人の遺産を継承し、自己水源を確保しながら施設の点検をしなければならない。」と述べられた。続いて、香川県農政水産部山田部長から「土器川は県内唯一の一級河川で、両岸は香川県の農業生産地域である。しかし、施設の老朽化で維持管理に苦勞しており、この事業は地域の活性化の為にも期待している。」と挨拶された。最後に四国土地改良調査管理事務所小林所長から「事業計画も固まってきたところであり、引き続きご支援を賜りたい。」と挨拶があった。その後、四国土地改良調査管理事務所森下課長より、香川用水土器川沿岸地区農業用水再編対策事業の概要と着工ス

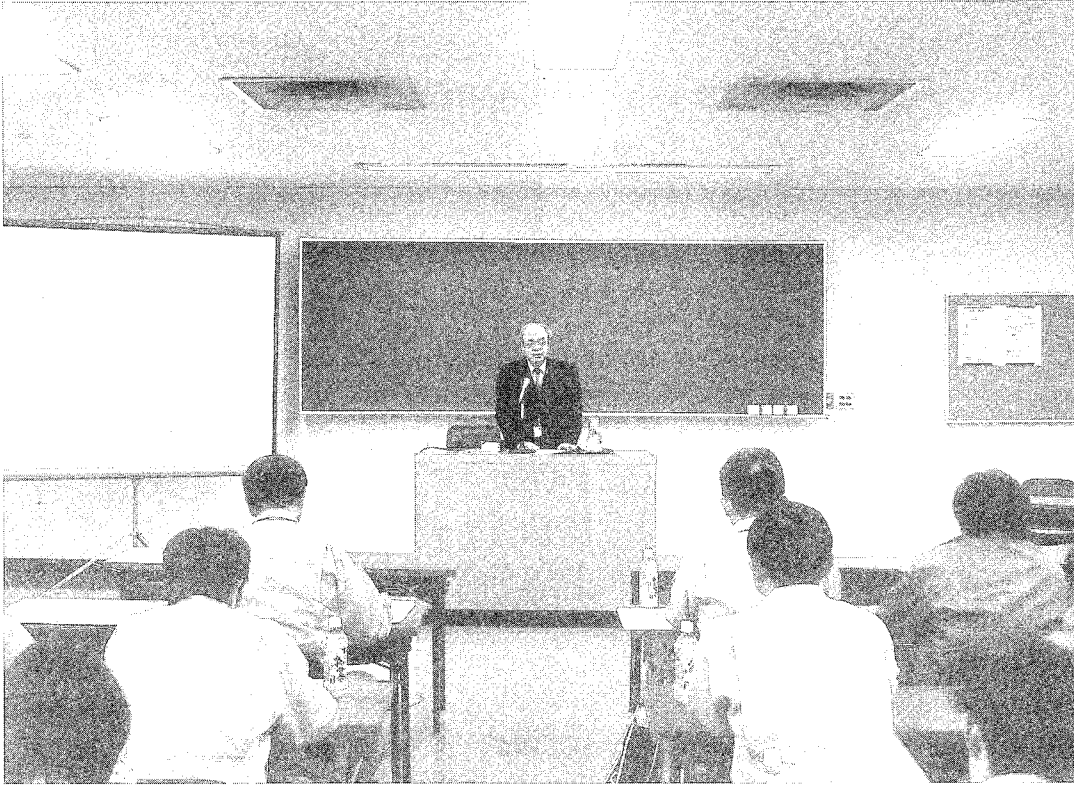
引き続き、平成18年度香川用水土器川沿岸地区地域用水環境対策協議会総会が開催され、新井会長から「先人の造られた農業施設を未来につなぎ、また、多面的な施設として新たな機能を増進させたい。」と開会の挨拶が述べられた。その後議事に入り、第1号議案から第3号議案が提案され審議、承認された。また、その他として、香川用水土器川沿岸地区の環境配慮の基本方針などについて、四国土地改良調査管理事務所河田環境専門官より説明があり質疑を受けた。最後に津村副会長から「H19は決意新たに推進していく所存であります。」との挨拶により閉会した。

土器川沿岸地区位置図



ケジュールについて報告があった。議事に入り、第1号議から第4号議案が提案され承認された。

平成18年度換地処分実務研修開催



水土保全強化対策事業の一環として換地処分実務研修会が去る2月23日、高松市番町の香川用水記念会館において開催された。

冒頭、本会の山地常務理事から農業を取り巻く環境の厳しさが話された後、昨今のほ場整備に伴う換地処分事務は土地所有者の権利意識の高揚から調整、合意形成が難しくなっており本研修会がこれ等の円滑な処理に効果があることを期待すると挨拶がされた。

続いて最初の講義では、高松法務局民事行政部不動産登記部門谷口首席登記官より、平成17年4月6日第162回国会において不動産登記法等の一部を改正する法律が成立し、同月13日に交付されたのに伴い筆界特定制度が新たに導入され、平成18年1月20日から施行されたと説明があった。

続いて、筆界特定制度は筆界特定登記官が、土地の所有権登記名義人等の申請により、申請人等に意見及び資料を提出する機会を与えた上、外部専門家である筆界調査委員の意見を踏まえて、筆

界の現地における位置を特定する制度であるとの説明された。

引き続き国土地理院四国地方測量部測量課星野調査係長より、「公共測量の諸手続き」について講義され、国土地理院では「公共測量」が期間、経費、作業量等の観点から、適切に実施されるように技術的な助言、指導を行っており、国、都道府県、市

町村等の測量計画機関は、「公共測量」について必要な手続きを行い、国土地理院の助言・指導を受けることで規格が統一され、精度が確保された測量成果を得ることが、期待できると説明された。

続いて、中国四国農政局土地改良管理課 高市農地集団化係長から、国土調査法第19条第5項に基づく認証申請について、その記載要領等について説明された。

最後に、中国四国農政局土地改良管理課倉岡農地集団化指導官より、異議紛争の未然防止について、最近の換地に絡む訴訟は、関係権利者の権利意識の高揚と農地も財産としての考えから、複雑多岐の内容となっている。また、行政処分における事情判決が少なくなり、今までの判例も見直される傾向にあると説明された。

その後、農地集団化の手法でもある交換分合に対する受講者のアンケート調査が行われ、盛会裡に終了した。

—— 香川県人事異動 ——

県は4月1日付、職員の人事異動を発令したが土地改良関係者は次のとおり。

次長級配置換

新	旧	身 分	氏 名
環境森林部次長 (兼)政策調整監・防災局参事	農政水産部次長(兼)政策調整監・ 防災局参事(兼)農政課長・ 人権・同和政策課主幹事務取扱	香川県事務吏員	吉 田 隆 則

次長級昇任

農政水産部次長(兼)政策調整監・ 防災局参事(兼)農政課長・ 人権・同和政策課主幹事務取扱	法務文書課長	香川県事務吏員	香 西 一 憲
---	--------	---------	---------

課長級配置換

水資源対策課主幹(水資源対策担当)	環境・水政策課主幹(水資源対策担当)	香川県技術吏員	森 喜代太
-------------------	--------------------	---------	-------

課長補佐級配置換

農村整備課長補佐(総括)	労働政策課長補佐	香川県事務吏員	橋 本 英 一
西讃県税事務所副主幹	中讃土地改良事務所副主幹	香川県事務吏員	三 好 豊 秋
東讃土地改良事務所総務課長	農業経営課長補佐	香川県事務吏員	松 本 伊三男
中讃土地改良事務所総務課長	直島環境センター次長	香川県事務吏員	原 広 三
中讃土地改良事務所副主幹	丸亀病院副主幹	香川県事務吏員	河 田 昌 雄
土地改良課長補佐	西讃土地改良事務所事業課長	香川県技術吏員	亀 野 好 伸
土地改良課副主幹	東讃土地改良事務所副主幹	香川県技術吏員	木 村 徹 洋
農村整備課長補佐	土地改良課副主幹	香川県技術吏員	池 田 正 志
農村整備課副主幹	中讃土地改良事務所副主幹	香川県技術吏員	遠 藤 国 男
農村整備課副主幹	西讃土地改良事務所副主幹	香川県技術吏員	長 尾 秀 範
技術企画課工事検査室専門検査員	農村整備課長補佐	香川県技術吏員	永 田 悦 行
小豆総合事務所土地改良課長	中讃土地改良事務所指導課長	香川県技術吏員	杉 山 忠
東讃土地改良事務所指導課長	西讃土地改良事務所指導課長	香川県技術吏員	富 野 正 行
東讃土地改良事務所副主幹	農村整備課副主幹 (兼)技術企画課工事検査室専門検査員	香川県技術吏員	豊 田 一 美
東讃土地改良事務所副主幹	中讃土地改良事務所副主幹	香川県技術吏員	西 尾 修
東讃土地改良事務所副主幹	西讃土地改良事務所副主幹	香川県技術吏員	小 林 佳 彦
中讃土地改良事務所事業第二課長	土地改良課長補佐	香川県技術吏員	福 家 崇
中讃土地改良事務所指導課長	中讃土地改良事務所副主幹	香川県技術吏員	真 田 幸 隆
中讃土地改良事務所副主幹	農村整備課副主幹 (兼)技術企画課工事検査室専門検査員	香川県技術吏員	中 村 正 樹

新	旧	身 分	氏 名
中讃土地改良事務所副主幹	技術企画課工事検査室専門検査員	香川県技術吏員	田 淵 巧
西讃土地改良事務所事業課長	中讃土地改良事務所事業第二課長	香川県技術吏員	富 井 守
西讃土地改良事務所指導課長	土地改良課副主幹	香川県技術吏員	小 山 輝 己
西讃土地改良事務所副主幹	東讃土地改良事務所副主幹	香川県技術吏員	下 河 賢 禎

課長補佐級出向

県営水道事務所庶務課長	中讃土地改良事務所総務課長	香川県事務吏員	香 川 康 男
人事委員会事務局課長補佐	農村整備課長補佐（総括）	香川県事務吏員	東 山 利 一

課長補佐級退職

(3月31日付)

定年により退職	東讃土地改良事務所総務課長	香川県事務吏員	森 山 幹 夫
定年により退職	小豆総合事務所土地改良課長	香川県技術吏員	工 藤 正 利
定年により退職	東讃土地改良事務所指導課長	香川県技術吏員	岡 本 憲 治
定年により退職	中讃土地改良事務所副主幹	香川県技術吏員	尾 崎 良 彦

課長補佐級昇任

東讃土地改良事務所副主幹	東讃土地改良事務所主任	香川県技術吏員	安 西 浩 一
中讃土地改良事務所副主幹	東讃土地改良事務所主任	香川県技術吏員	熊 井 勝 也
中讃土地改良事務所副主幹	西讃土地改良事務所主任	香川県技術吏員	大 西 芳 文
西讃土地改良事務所副主幹	中讃土地改良事務所主任	香川県技術吏員	山 下 忠 昭

係長級配置換

広聴広報課主任	東讃土地改良事務所主任	香川県事務吏員	古 市 智 子
秘書課主任	土地改良課主任	香川県事務吏員	塩 田 京 子
土地改良課主任	自治振興課主任	香川県事務吏員	片 山 かおり
東讃県税事務所主任	農村整備課主任	香川県事務吏員	入 砂 知 見
東讃土地改良事務所主任	農政課主任	香川県事務吏員	石 原 美 保
水資源対策課主任	西讃土地改良事務所主任	香川県技術吏員	玉 木 直 仁
農業生産流通課主任	農村整備課主任	香川県技術吏員	岡 崎 力
土地改良課主任	東讃土地改良事務所主任	香川県技術吏員	安 藤 大 一
土地改良課主任	東讃土地改良事務所主任	香川県技術吏員	河 合 博 人
土地改良課主任	中讃土地改良事務所主任	香川県技術吏員	加 門 達 哉

新	旧	身 分	氏 名
農村整備課主任	小豆総合事務所主任	香川県技術吏員	井 上 一 夫
農村整備課主任	東讃農業改良普及センター主任	香川県技術吏員	井之川 育 篤
小豆総合事務所主任	東讃土地改良事務所主任	香川県技術吏員	中 條 学
小豆総合事務所主任	西讃土地改良事務所主任	香川県技術吏員	平 尾 誠 治
東讃土地改良事務所主任	環境・水政策課主任	香川県技術吏員	小 島 康 生
東讃土地改良事務所主任	土地改良課主任	香川県技術吏員	登 倉 耕太郎
東讃土地改良事務所主任	中讃土地改良事務所主任	香川県技術吏員	井 上 奉 憲
東讃土地改良事務所主任	中讃土地改良事務所主任	香川県技術吏員	矢 武 知 幸
東讃土地改良事務所主任	西讃土地改良事務所主任	香川県技術吏員	土 居 浩 二
中讃土地改良事務所主任	農村整備課主任	香川県技術吏員	三 宮 知 彦
中讃土地改良事務所主任	東讃土地改良事務所主任	香川県技術吏員	富 田 康 弘
中讃土地改良事務所主任	東讃土地改良事務所主任	香川県技術吏員	山 内 久
中讃土地改良事務所主任	西讃土地改良事務所主任	香川県技術吏員	川 人 章 雄
西讃土地改良事務所主任	小豆総合事務所主任	香川県技術吏員	濱 田 耕 弘
西讃土地改良事務所主任	東讃土地改良事務所主任	香川県技術吏員	真 部 一 之
西讃土地改良事務所主任	中讃土地改良事務所主任	香川県技術吏員	島 田 洋
西讃土地改良事務所主任	中讃土地改良事務所主任	香川県技術吏員	新 川 修

係長級出向

埋蔵文化財センター主任	中讃土地改良事務所主任	香川県事務吏員	古 市 和 子
-------------	-------------	---------	---------

係長級昇任

農村整備課主任	農村整備課	香川県技術吏員	久 保 道 子
農村整備課主任	農村整備課	香川県技術吏員	十 川 和 士
東讃土地改良事務所主任	東讃土地改良事務所	香川県技術吏員	大 谷 恭 弘
東讃土地改良事務所主任	東讃土地改良事務所	香川県技術吏員	多 田 敏 幸
中讃土地改良事務所主任	土地改良課	香川県技術吏員	大 山 啓 介

一般職員配置換

総務学事課	東讃土地改良事務所	香川県事務吏員	宝 田 裕 計
小豆総合事務所	土地改良課	香川県事務吏員	田 村 祐 二
東讃土地改良事務所	統計調査課	香川県事務吏員	岩 澤 雅 人

新	旧	身 分	氏 名
土地改良課	中讃土地改良事務所	香川県技術吏員	中 條 宏 和
東讃土地改良事務所	土地改良課	香川県技術吏員	好 井 弘 城
東讃土地改良事務所	中讃土地改良事務所	香川県技術吏員	中 原 美 香
中讃土地改良事務所	農村整備課	香川県技術吏員	谷 川 満 弘
中讃土地改良事務所	東讃土地改良事務所	香川県技術吏員	藤 重 真 紗 子
西讃土地改良事務所	東讃土地改良事務所	香川県技術吏員	吉 田 清 吾
栗林公園観光事務所	東讃土地改良事務所	主席技師 (自動車運転士)	成 岡 昭 仁
農業試験場	中讃土地改良事務所	主席技師 (自動車運転士)	谷 俊 男
東讃土地改良事務所	中讃土木事務所	主席技師 (自動車運転士)	白 河 光 一
中讃土地改良事務所	中讃土木事務所	主席技師 (自動車運転士)	山 下 節 男
中讃土木事務所	中讃土地改良事務所	主席技師 (自動車運転士)	前 田 勝 巳

一般職員転任

土地改良課	教育委員会事務局総務課	事務局職員	兵 頭 千 里
-------	-------------	-------	---------

一般職員採用

農村整備課	香川県職員	林 公 章	
-------	-------	-------	--

中国四国農政局香川農地防災事業所人事異動（農業土木）

新 所 属	旧 所 属	氏 名
中国四国農政局 整備部 設計課 工事検査官	香川農地防災事業所 工事第一課長	青 木 哲 治
中国四国農政局 整備部 農地整備課 課長補佐	香川農地防災事業所 工事第二課長	西 山 正 志
四国東部農地防災事務所 施設機械課長	香川農地防災事業所 西部支所長	葎 迫 博 美
那賀川農地防災事業所 工務官	香川農地防災事業所 工務官	池 上 博
四国東部農地防災事務所 工事第一課 工事第1係長	香川農地防災事業所 調査設計課 設計第2係長	川 口 教 友
四国東部農地防災事務所 東部支所 工事第2係長	香川農地防災事業所 工事第一課 工事第2係長	上 岡 雅 司
独立行政法人 緑資源機構 近畿北陸整備局 黒潮 ブルーライン建設事業所 設計第2係長	香川農地防災事業所 工事第二課 工事第3係長	坂 本 晃 一
那賀川農地防災事業所 施設機械課 施設機械第1係長	香川農地防災事業所 工事第二課 工事第4係長	森 田 直 文
四国土地改良調査管理事務所 保全対策課 保全技術係長	香川農地防災事業所 東部支所 工事第2係長	成 松 誠 司
中国四国農政局 整備部 防災課 国営防災第2係	香川農地防災事業所 工事第一課 工事第1係	橋 本 敏 行
香川農地防災事業所 工事第二課長 環境省	中国四国地方環境事務所 自然再生企画官 兼国立公園・保全整備課 課長補佐	山 口 恭 弘

新 所 属	旧 所 属	氏 名
香川農地防災事業所 工事第一課長	香川農地防災事業所 調査設計課長	古 谷 義 弘
香川農地防災事業所 西部支所長	香川農地防災事業所 東部支所長	和 田 康 司
香川農地防災事業所 工事第一課 調査係長	香川農地防災事業所 調査設計課 調査係長	竹 下 博 文
香川農地防災事業所 工事第一課 設計係長	香川農地防災事業所 調査設計課 設計第1係長	永 木 隆 介
香川農地防災事業所 工事第二課 工事第1係長	香川農地防災事業所 工事第一課 工事第1係長	長 塩 清
香川農地防災事業所 工事第二課 工事第2係長	香川農地防災事業所 東部支所 工事第1係長	寺 戸 有 希
香川農地防災事業所 工事第一課 設計係	香川農地防災事業所 調査設計課 設計第1係	濱 田 美 智 子

※東部支所閉鎖、調査設計課、工事第二課の工事第3・4係長は廃止となる。

香川農地防災事業所人事異動（事務系）

九州農政局 整備部 用地課 用地官	香川農地防災事業所 用地課長	松 本 巡
経営局 協同組織課 年金班 年金業務係長	香川農地防災事業所 庶務課 経理係長	大 月 正 敏
中国四国農政局 総務部 会計課 歳出・決算係	香川農地防災事業所 用地課 補償係	平 田 真 吾
香川農地防災事業所 用地課長	中国四国農政局 整備部 用地課 課長補佐	日 野 大 成
香川農地防災事業所 庶務課 経理係長	那賀川農地防災事業所 庶務課 経理係長	富 永 賢
香川農地防災事業所 用地課 用地係長	中国四国農政局 総務部 総務課 監査第2係長	山 田 穂 吾

四国土地改良調査管理事務所人事異動

(H19. 4. 1)

中国四国農政局岡山南部農業水利事業所 庶務課長	中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所 庶務課長	森 田 眞 行
中国四国農政局岡山南部農業水利事業所 工事第一課長	中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所 計画課長	森 下 達 士
中国四国農政局那賀川農地防災事業所 施設機械課長	中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所 保全対策課長	岩 嶋 清 隆
中国四国農政局農村計画部 事業計画課 環境計画専門官	中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所 調査計画専門官	松 野 政 廣
北陸農政局農村計画部 資源課営農指導第1係長	中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所 調査課調査係長	山 根 隆 志
中国四国農政局農村計画部 事業計画課広域基盤計画係長	中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所 計画課計画第1係長	西 山 佐 喜 雄
中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所 庶務課長	中国四国農政局整備部 用地課課長補佐(総務)	名 越 登
中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所 計画課長	中国四国農政局整備部 防災課課長補佐	馬 屋 原 亨
中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所 保全対策課長	岡山南部農業水利事業所 工事第二課長	的 場 幸 男
中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所 調査計画専門官	中国四国農政局整備部 水利整備課管理技術係長	茂 木 正 史
中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所 調査課調査係長	九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所 熊本支所	石 井 利 導
中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所 計画課計画第1係長	中国四国農政局斐伊川沿岸農業水利事業所 工事第一課設計係長	山 下 博 文
中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所 保全対策課保全技術係長【新設】	中国四国農政局香川農地防災事業所 東部支所工事第2係長	成 松 誠 司
中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所 保全対策課資源保全係長【新設】	中国四国農政局高瀬農地保全事業所 調査課調査係長	河 相 泰 信

—— 本会人事異動 ——

平成19年4月1日付

氏 名	新	旧
川 西 正 二	事務局次長(兼)総務課長(兼)電算課長	総務課長(兼)農業集落排水課(兼)電算課長
三 好 悟	事務局次長(兼)換地登記課長	換地登記課 課 長
高 木 康 博	調査設計課長(兼)農業集落排水課(兼)小豆支所長	調査設計課長(兼)小豆支所長
三 好 隆 義	企画指導課主幹(兼)換地登記課 課長補佐	企画指導課(兼)換地登記課 課長補佐
林 貢 一	換地登記課 主 幹	仲多度支所 支所次長
鎌 田 忠	調査設計課(兼)農業集落排水課 課長補佐	中部支所 副主幹
大 河 仁 司	電算課 課長補佐	農業集落排水課(兼)調査設計課 副主幹
野 瀬 康 弘	総務課(兼)企画指導課 課長補佐	総務課(兼)企画指導課 副主幹
十 鳥 勉	仲多度支所 支所次長	換地登記課(仲多度支所勤務) 副主幹
太 田 久 夫	中部支所 支所次長	大川支所 支所次長
岡 賢 治	仲多度支所 支所次長	中部支所 支所次長
武 下 幸 徳	大川支所 支所次長	大川支所 副主幹
岡 田 暁 憲	中部支所 副主幹	仲多度支所 副主幹
北 井 順 子	換地登記課(仲多度支所勤務) 副主幹	換地登記課(三豊支所勤務) 係 長
泉 川 祥 治	中部支所 副主幹	三豊支所 主 任
西 川 隆 晴	三豊支所 副主幹	三豊支所 主 任
石 田 一	電算課(兼)総務課 副主幹	電算課 係 長
福 島 一 順	換地登記課(仲多度支所勤務) 副主幹	換地登記課(仲多度支所勤務) 係 長
岸 上 静 江	換地登記課(兼)企画指導課 係 長	換地登記課 主任主事
白 川 邦 明	三豊支所 主 任	中部支所 主任技師
富 永 雅 人	換地登記課(中部支所勤務) 係 長	換地登記課(中部支所勤務) 主任主事
橋 田 裕 文	仲多度支所 主 任	調査設計課 主任技師
竹 内 靖	企画指導課(兼)電算課 係 長	企画指導課 主任技師
澤 田 美登利	換地登記課(中部支所勤務) 係 長	換地登記課(中部支所勤務) 主任主事
前 田 清 誉	三豊支所 主任技師	仲多度支所 技 師
真 部 紀美代	企画指導課(兼)電算課 主任主事	企画指導課 主 事
端 純一郎	中部支所 主任技師	中部支所 技 師
松 宮 公 子	総務課(兼)換地登記課 主任主事	総務課(兼)換地登記課 主 事
国 土 通 康	仲多度支所 主任技師	仲多度支所 技 師
豊 田 博 枝	三豊支所 臨時備	仲多度支所 臨時備

みどり 水土里の路ウォーキング【太古の森とため池巡り】

参加者募集

獅子の里三木

みどりとホテルの里の《ため池と水》

太古の森の恐竜

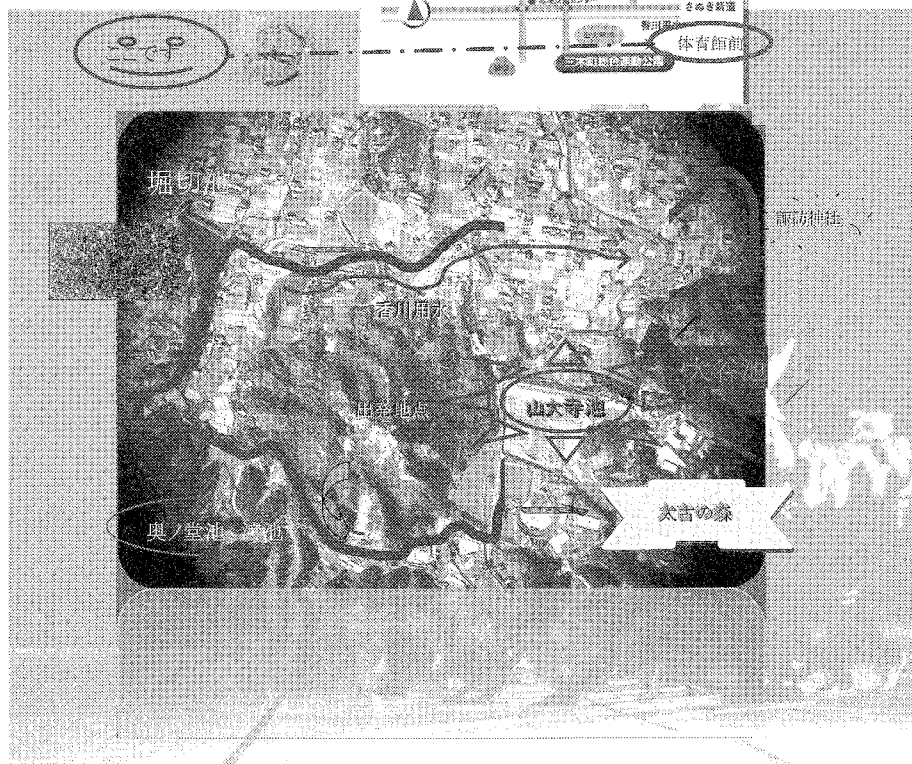
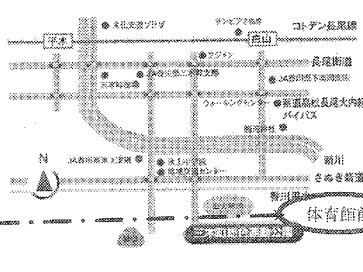
日 時 平成19年6月2日(土)



午前9時～12時 雨天決行

- 集 合 8時30分から受付 三木町総合運動公園 体育館前集合
- コ ー ス 山大寺池、太古の森 周辺 約7km
- 内 容 チェックポイントでため池と香川用水施設の説明
- 準 備 物 水筒・帽子・リュックサック・雨具・(弁当)歩きやすい靴
- 参 加 費 無 料(参加賞として粗品進呈)
- 主 催 水土里ネット三木町、水土里ネット山大寺池、三木町
中国四国農政局香川農地防災事業所、中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所
水土里ネット香川、水土里ネット香川用水
香川県
- 協 方 香川県ウォーキング協会
- 申 込 方 法 下記の申込書にご記入のうえ、三木町産業振興課(住所 木田郡三木町水上310)又、水土里ネット三木町(木田郡三木町水上370-2 三木町農村環境改善センター内)に提出してください。
- 申 込 締 切 平成19年5月18日(金) (募集人員先着200名)
- 問 い 合 せ 先 三木町産業振興課(TEL087-891-3308) 香川県土地改良事業団体連合会(TEL087-822-0303)
水土里ネット三木町(TEL087-891-3318)

交通案内



会と催し

- | | | | |
|------|--|-----|---|
| 3月2日 | 平成19年度通常総会（中部地区土地改良協議会）
（高松市） | 21日 | 三豊郡岩瀬池土地改良区総代会
（三豊市） |
| 2日 | 平成19年度通常総会（国営総合農地防災事業中部地区連絡協議会）
（高松市） | 22日 | 総代会（満濃池土地改良区）
（善通寺市） |
| 3日 | 農地・水・環境保全向上対策活動組織構成員説明会
（土庄町） | 22日 | 平成18年度農地情報活用支援事業第2回地域研修会：大川管内
（さぬき市） |
| 5日 | 農業集落排水事業担当者全国研修会
（東京都） | 22日 | 平成18年度農地情報活用支援事業第2回地域研修会：中部管内
（高松市） |
| 8日 | 中国四国土地改良事業団体連合会協議会事務責任者会議
（岡山市） | 22日 | 香川県農業会議総会
（高松市） |
| 9日 | 平成19年度通常総会（仲多度土地改良事業推進会議）
（善通寺市） | 23日 | 本会第49回通常総会
（高松市） |
| 14日 | 綾川町担い手育成総合支援協議会幹事会
（綾川町） | 23日 | 平成18年度幹事会（香川県農業構造改善協会）
（高松市） |
| 16日 | 平成18年度農地情報活用支援事業第2回地域研修会：小豆管内
（小豆島町） | 24日 | 第37回木田郡三木町土地改良区通常総代会
（三木町） |
| 16日 | 香川地区国営総合農地防災事業推進協議会幹事会
（高松市） | 26日 | 第12回地域農業再生推進協議会幹事会
（観音寺市） |
| 17日 | 第60回通常総代会（香川県内場池土地改良区）
（高松市） | 26日 | 地域整備方向検討調査に係る水質検討委員会
（高松市） |
| 19日 | 観音寺市一ノ谷池土地改良区第55回通常総代会
（観音寺市） | 26日 | 香川地域広域基盤確立推進協議会
（丸亀市） |
| 19日 | 平成18年度農地情報活用支援事業第2回地域研修会：三豊管内
（三豊市） | 26日 | 平成19年度通常総会（国営総合農地防災事業綾歌地区連絡協議会）
（坂出市） |
| 19日 | 香川地域広域基盤確立推進連絡会
（丸亀市） | 28日 | 第8回琴平町土地改良区通常総代会
（琴平町） |
| 20日 | 第40回香川用水土地改良区通常総代会
（高松市） | 28日 | 全土連第49回通常総会・第48回全国土地改良功労者表彰、農業農村整備コンクール優良地区表彰式
（東京都） |
| 20日 | 平成18年度農地情報活用支援事業第2回地域研修会：綾歌・仲多度管内
（丸亀市） | 28日 | 第38回通常総代会（香川県三豊市三野町土地改良区）
（三豊市） |
| 20日 | 土器川沿岸国営農業用水再編対策事業推進協議会総会
（丸亀市） | 28日 | 平成18年度第1回通常総会（疏水ネットワーク）
（東京都） |
| 20日 | 土器川沿岸地域用水環境対策協議会総会
（丸亀市） | 29日 | 第25回満濃町土地改良区総代会
（まんのう町） |
| | | 30日 | 平成19年度通常総会（綾歌土地改良協議会）
（坂出市） |